

**製品名: HDC ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11956**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	72kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HDC
別名	HDC; Histidine decarboxylase; HDC
遺伝子 ID	3067.0
SwissProt ID	P19113
免疫原	抗血清はヒト HDC の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

**背景**

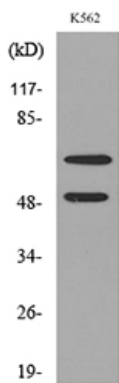
この遺伝子は、グループ II 脱炭酸酵素ファミリーのメンバーをコードし、ピリドキサルリン酸依存的に L-ヒスチジンをヒスタミンに変換するホモ二量体を形成します。ヒスタミンは、神経伝達、胃酸分泌、炎症、平滑筋緊張など、いくつかの生理学的プロセスを

制御します。[RefSeq 提供、2010年8月],触媒活性: L-ヒスチジン = ヒスタミン + CO(2),補因子: ピリドキサルリン酸,経路: アミンおよびポリアミン生成; ヒスタミン生成; L-ヒスチジンからヒスタミン: ステップ 1/1,類似性: グループ II 脱炭酸酵素ファミリーに属する,サブユニット: ホモ二量体,

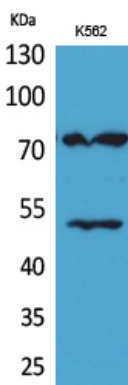
## 研究分野

ヒスチジン代謝;

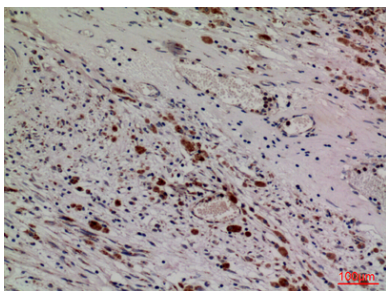
## 画像データ



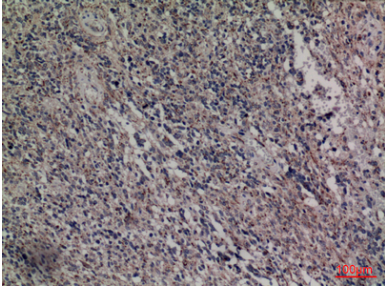
HDC 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



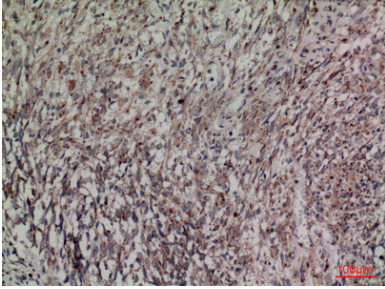
HDC ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



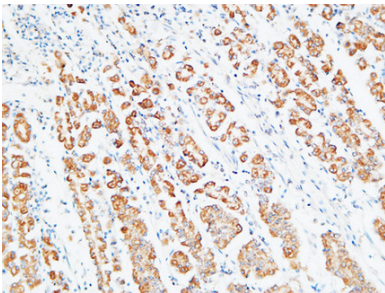
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



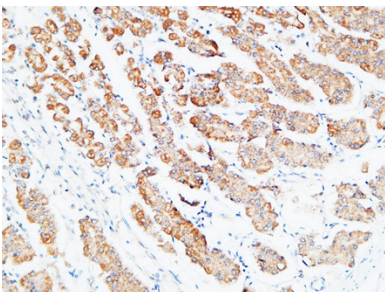
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



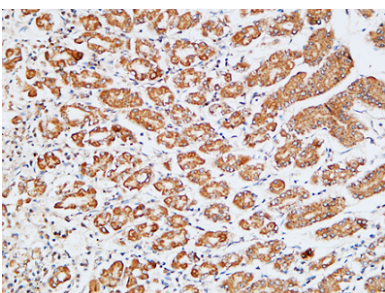
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。